



2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月4日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 北川 岳史 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第3四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第3四半期	303,851	△23.6	21,914	7.3	23,395	11.7	14,522	32.5
2020年11月期第3四半期	397,791	△2.4	20,432	△18.3	20,943	△20.1	10,961	△25.6

(注) 包括利益 2021年11月期第3四半期 20,360百万円 (48.8%) 2020年11月期第3四半期 13,679百万円 (△3.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	102.98	—
2020年11月期第3四半期	76.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第3四半期	377,734	264,915	63.9
2020年11月期	451,723	285,377	53.0

(参考) 自己資本 2021年11月期第3四半期 241,559百万円 2020年11月期 239,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年11月期	—	20.00	—		
2021年11月期 (予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	△22.8	27,000	△4.6	28,600	△1.3	15,400	35.3	109.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）、除外 1社（社名）株式会社キューソー流通システム
（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表および主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年11月期 3 Q	150,000,000 株	2020年11月期	150,000,000 株
2021年11月期 3 Q	10,994,645 株	2020年11月期	6,959,200 株
2021年11月期 3 Q	141,018,980 株	2020年11月期 3 Q	143,041,644 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社キユーソー流通システムの株式を一部売却し持分法適用関連会社へ移行しました。これにより、売上高1,050億89百万円、営業利益19億92百万円の減少影響が生じています。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループは、新型コロナウイルス感染症についてワクチン接種が開始されたものの、感染拡大に伴う経済活動の制限などにより依然として先行き不透明な状況が続いています。

売上高については、海外では新型コロナウイルス感染症の収束から外食需要の回復が見られ増収となりましたが、物流事業の持分法適用関連会社への移行の影響により減収となりました。利益については、販売費及び一般管理費の抑制に努めたことなどにより前年を上回りました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)	[参考] 前第3四半期 (遡及後)
売上高	397,791	303,851	△93,940	△23.6%	292,701
営業利益	20,432	21,914	1,482	7.3%	18,440
経常利益	20,943	23,395	2,452	11.7%	19,445
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,961	14,522	3,561	32.5%	10,961

※前第3四半期(遡及後)は、物流事業を除いた遡及適用後の数値を記載しています。

◇ セグメント別の状況

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しています。

- ・国内の「調理・調味料」「サラダ・惣菜」「タマゴ」は「市販用」「業務用」へ再編
- ・「調理・調味料」に含まれていた海外部分を分離し、「海外」を新設
- ・「物流」は持分法適用関連会社へ移行

以下は前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)
市販用	126,775	130,150	3,375	2.7%
業務用	107,444	110,979	3,535	3.3%
海外	35,002	39,296	4,294	12.3%
フルーツソリューション	12,589	12,937	348	2.8%
ファインケミカル	5,973	6,481	508	8.5%
物流	105,089	—	△105,089	—
共通	4,916	4,006	△910	△18.5%
合計	397,791	303,851	△93,940	△23.6%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)
市販用	12,290	13,986	1,696	13.8%
業務用	4,694	4,109	△585	△12.5%
海外	3,236	5,845	2,609	80.6%
フルーツソリューション	493	615	122	24.7%
ファインケミカル	908	564	△344	△37.9%
物流	1,992	—	△1,992	—
共通	1,200	991	△209	△17.4%
全社費用	△4,384	△4,199	185	—
合計	20,432	21,914	1,482	7.3%

<市販用>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による内食需要の高まりを受け、主力商品を中心に売上高が伸長したことにより増収
- ・売上増加や売上総利益率の改善に努めたことなどにより増益

<業務用>

- ・タマゴ商品の販売価格が鶏卵相場の高騰影響により上昇し増収
- ・新型コロナウイルス感染症による需要の減少や原料となる鶏卵価格の高騰影響から減益

<海外>

- ・前年度実施した北米タマゴ事業譲渡の影響があったものの、中国を中心に新型コロナウイルス感染症からの回復がみられ増収
- ・各エリアにおける売上拡大や付加価値の高いドレッシングの販売が堅調に推移したことから増益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用ジャム・スプレッドが堅調に推移したことなどにより増収増益

<ファインケミカル>

- ・通信販売においてヒアルロン酸のサプリメントやスキンケア商品が好調に推移し増収
- ・原料販売の不振による生産操業度低下および広告宣伝費の増加により減益

<共通>

- ・食品メーカー向け製造機械の売上減少により減収減益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,777億34百万円と前連結会計年度末に比べ739億89百万円減少
主に受取手形及び売掛金、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、土地の減少、投資有価証券の増加による
 - ・負債は、1,128億18百万円と前連結会計年度末に比べ535億28百万円減少
主に支払手形及び買掛金、流動負債のその他に含まれる未払費用、長期借入金の減少による
 - ・純資産は、2,649億15百万円と前連結会計年度末に比べ204億62百万円減少
主に利益剰余金の増加、自己株式の取得、非支配株主持分の減少による
- また、当年1月に連結子会社であった株式会社キューソー流通システムの株式の一部売却により、第1四半期連結会計期間から持分法適用関連会社へ移行したことで、総資産1,027億11百万円、負債616億67百万円が減少しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月6日に公表した連結業績および配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,835	55,131
受取手形及び売掛金	73,783	57,024
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	16,214	17,908
仕掛品	1,398	979
原材料及び貯蔵品	9,609	10,942
その他	6,696	2,008
貸倒引当金	△523	△122
流動資産合計	174,012	153,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	191,496	158,623
減価償却累計額	△110,485	△92,769
建物及び構築物(純額)	81,011	65,853
機械装置及び運搬具	183,338	149,497
減価償却累計額	△121,934	△106,631
機械装置及び運搬具(純額)	61,403	42,866
土地	52,503	30,898
建設仮勘定	5,352	1,639
その他	29,353	18,062
減価償却累計額	△17,823	△11,996
その他(純額)	11,530	6,066
有形固定資産合計	211,802	147,323
無形固定資産		
のれん	2,014	601
その他	11,497	11,995
無形固定資産合計	13,512	12,597
投資その他の資産		
投資有価証券	27,110	44,192
退職給付に係る資産	9,601	10,105
その他	15,873	9,764
貸倒引当金	△188	△120
投資その他の資産合計	52,396	63,941
固定資産合計	277,710	223,862
資産合計	451,723	377,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,828	28,743
短期借入金	12,153	12,735
未払法人税等	3,901	4,760
賞与引当金	1,817	5,246
その他の引当金	963	2,475
その他	25,709	19,282
流動負債合計	86,373	73,243
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	51,861	16,428
退職給付に係る負債	3,619	2,835
資産除去債務	1,218	220
その他	13,274	10,091
固定負債合計	79,973	39,575
負債合計	166,346	112,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,647	28,632
利益剰余金	201,492	210,340
自己株式	△15,865	△25,868
株主資本合計	238,379	237,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,882	9,424
繰延ヘッジ損益	△4	△1
為替換算調整勘定	△3,408	△1,234
退職給付に係る調整累計額	△4,315	△3,838
その他の包括利益累計額合計	1,153	4,351
非支配株主持分	45,844	23,355
純資産合計	285,377	264,915
負債純資産合計	451,723	377,734

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
売上高	397,791	303,851
売上原価	304,715	210,632
売上総利益	93,076	93,218
販売費及び一般管理費	72,643	71,304
営業利益	20,432	21,914
営業外収益		
受取利息	90	90
受取配当金	455	393
持分法による投資利益	84	770
受取保険金	334	189
その他	601	609
営業外収益合計	1,565	2,053
営業外費用		
支払利息	247	181
支払手数料	301	35
その他	506	356
営業外費用合計	1,055	573
経常利益	20,943	23,395
特別利益		
固定資産売却益	79	442
関係会社株式売却益	7	289
抱合せ株式消滅差益	42	—
その他	24	44
特別利益合計	154	776
特別損失		
固定資産除却損	929	421
減損損失	144	—
その他	451	104
特別損失合計	1,525	526
税金等調整前四半期純利益	19,572	23,644
法人税等	6,607	7,142
四半期純利益	12,965	16,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,004	1,980
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,961	14,522

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	12,965	16,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△341	548
繰延ヘッジ損益	△11	4
為替換算調整勘定	△55	2,632
退職給付に係る調整額	1,121	437
持分法適用会社に対する持分相当額	—	235
その他の包括利益合計	713	3,857
四半期包括利益	13,679	20,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,638	17,719
非支配株主に係る四半期包括利益	2,040	2,640

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

事業分離

当社は、2021年1月7日の取締役会決議により、当社の連結子会社である株式会社キユーソー流通システム（以下、「KRS」）の株式の一部を売却することを決定し、2021年1月18日に立会外分売により株式譲渡を行いました。これに伴い、KRSおよび同社の子会社である下記14社（以下、「KRSグループ」）は、第1四半期連結会計期間の期首より当社の連結子会社から持分法適用関連会社へと変更になりました。

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. キューソーティス株式会社 | 8. キューソーアレスト株式会社 |
| 2. 株式会社エスワイプロモーション | 9. 株式会社フレッシュデリカネットワーク |
| 3. キューソーサービス株式会社 | 10. 株式会社久松運輸 |
| 4. キューソーロジック株式会社 | 11. PT Kiat Ananda Cold Storage |
| 5. 株式会社サンエー物流 | 12. PT Ananda Solusindo |
| 6. 株式会社サンファミリー | 13. PT Manggala Kiat Ananda |
| 7. 大阪サンエー物流株式会社 | 14. PT Trans Kontainer Solusindo |

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

立会外分売のため、記載を省略します。

(2) 分離した事業の内容

連結子会社	株式会社キユーソー流通システムおよび同社の子会社14社
事業の内容	倉庫業および運送取扱業

(3) 事業分離を行った主な理由

KRSは、1966年に当社の倉庫部門を母体に設立以来、高品位で競争力のある食品物流サービスの提供を通じて、当社グループの事業展開に貢献しました。

近年、食品および物流を取り巻く事業環境が大きく変化するなか、当社およびKRSの今後の事業展開について、両社のさらなる成長を見据え検討を重ねました。

その結果KRSにおいては、当社との親子関係を解消し迅速な意思決定と戦略的投資の主体的判断を可能としたうえで、これまでの国内での食品向け総合物流サービスの提供をさらに向上させること、また海外での拡大を積極的に展開し従来以上に独自性を持った成長戦略を推し進めることが、企業価値向上に資するとの考えに至りました。

一方、当社においては「めざす姿」（※注）の実現に向けて、国内・海外の食品事業に経営資源の一層の集中を進めることが将来にわたる企業価値の向上に資すると判断しました。

以上を鑑み、KRS株式の一部売却を行うこととしましたが、当社とKRSは引き続き商品の製造からお届けまでの一貫した物流品質の考え方を共有するとともに、KRSは当社グループの物流を担います。

今後も、食品製造と物流機能において強固なパートナーシップを維持し、両社の持続的な企業価値向上に努めます。

(※注) 私たちは「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって、世界の食と健康に貢献するグループをめざします

(4) 事業分離日

2021年1月18日（株式譲渡実行日）

2020年12月1日（みなし譲渡日）

(5) 法的形式を含む取引の概要

受取対価を現金等の財産のみとするKRSの発行済株式の一部譲渡

(6) 譲渡株式数および譲渡後の所有株式の状況

譲渡株式数	253,600株
譲渡後の所有株式数	5,420,402株 (議決権所有割合: 43.6%)

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

関係会社株式売却益	289百万円
-----------	--------

(2) 移転した事業に係る資産および負債の適正な帳簿価額ならびにその主な内訳

流動資産	32,347百万円
固定資産	70,363百万円
資産合計	102,711百万円

流動負債	32,314百万円
固定負債	29,352百万円
負債合計	61,667百万円

(3) 会計処理

KRSグループの連結上の譲渡持分に係る帳簿価額と譲渡価額との差額を関係会社株式売却損として処理するとともに、過年度において当社および当社の連結子会社がKRSに売却した土地の未実現利益のうち本株式譲渡により実現した利益を関係会社株式売却損益の修正として処理した結果、「関係会社株式売却益」として特別利益に計上しています。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

物流事業

4. 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として事業分離を行ったため、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書には、分離した事業に係る「売上高」および「営業利益」は含まれていません。

なお、分離した事業に係る損益は、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の「持分法による投資利益」に計上されています。

持分法による投資利益	699百万円
------------	--------

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	物流	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高										
外部顧客への 売上高	126,775	107,444	35,002	12,589	5,973	105,089	4,916	397,791	—	397,791
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	539	3,448	937	659	312	23,096	7,362	36,356	△36,356	—
計	127,314	110,892	35,940	13,248	6,286	128,186	12,278	434,147	△36,356	397,791
セグメント利益	12,290	4,694	3,236	493	908	1,992	1,200	24,817	△4,384	20,432

(注)1. セグメント利益の調整額△4,384百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への 売上高	130,150	110,979	39,296	12,937	6,481	4,006	303,851	—	303,851
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	557	3,830	714	179	327	8,019	13,629	△13,629	—
計	130,708	114,809	40,010	13,116	6,809	12,025	317,480	△13,629	303,851
セグメント利益	13,986	4,109	5,845	615	564	991	26,114	△4,199	21,914

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,199百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2021年度からの4年間を対象とする中期経営計画に基づき、お客様や市場のニーズ、環境変化に対応するために事業担当制から市場を軸とした体制に移行したため、報告セグメントも以下のとおり変更しています。

事業区分の変更

- ・国内の「調理・調味料」「サラダ・惣菜」「タマゴ」は「市販用」「業務用」へ再編
- ・「調理・調味料」に含まれていた海外部分を分離し、「海外」を新設
- ・「物流」は持分法適用関連会社へ移行

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2021年8月27日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、下記のとおり消却を実施しました。

1. 自己株式の消却を行った理由

資本効率の向上および株主還元の明確化

2. 自己株式の消却の概要

(1) 消却した株式の種類	当社普通株式
(2) 消却した株式の総数	8,500,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 5.67%)
(3) 消却日	2021年9月13日

3. 上記の消却後の発行済株式総数は、141,500,000株です。